

多くの住民がお世話になりました

長年、播磨町で多くの患者を診療され、地域の保健・医療を支えてこられました。また、近年では新型コロナウイルスワクチン接種について、多大なご協力をいただきましたことから、播磨町長より感謝状が贈られました。



川野 和雄さん (川野外科)

播磨町で生まれ育ったはりまっ子なら誰でもご存じ、米山小児科。長年、播磨町の子どもたちの健やかな成長を支えられた功績に対し、播磨町長より感謝状が贈られました。



長年の保健・医療活動に播磨町から感謝状を贈りました
米山 温子さん (米山小児科)

ストラックアウトや体内時計、大声や箸づかいも競いあう

☎ 079-437-2201
スポーツクラブ21はりま
お待ちしております。

スポーツクラブ21はりまではスポーツだけでなく、子どもから大人までが遊べるイベントをしています。皆さまのご参加をお待ちしております。

5月14日に総合体育館でスポはりカーニバルを開催しました。7種類の競技（フリースロー、ボッチャ、キャタピラー、大豆のはしうつしなど）でNo.1を目指すイベントで、約100人の参加がありました。



スポはりカーニバル
スポはりピクニックを開催

訓練の成果を発揮しました



▲優勝した二子北分団の皆さん

- 第52回 播磨町消防団小型ポンプ操法大会
- 5月21日に播磨町役場駐車場で小型ポンプ操法大会を開催しました。近年はコロナ禍で実施できず4年ぶりの開催となりましたが、3月19日のポンプ操法講習会から練習を重ねてきた町内分団の8分団がこの大会に望みました。
- 小型ポンプ操法の結果
- 優勝 二子北分団
 - 準優勝 本荘分団
 - 操作員別優勝
 - 指揮者 二子北分団 澤田将一
 - 一番員 古田東分団 大西邦明
 - 二番員 本荘分団 小田浩之
 - 三番員 二子北分団 安 徳充
 - 古田東分団 内田知宏
 - 駅西分団 坂本勇樹

播磨町にある海は、どんな海？ 子どもたちが海とふれあいました



「海のあるまちで暮らしていることを、子どもたちの記憶に残したい」 そんな願いをこめて播磨町では海ふれあい事業を実施しています。

5月20日に実施した、「第4回はりまの海きつずチャレンジ」は、町内在住の小学4～6年生約60人が、稚魚の放流、海の安全講習、海藻の万華鏡作り、東播磨港と播磨沖のクルージングを楽しみました。

☎ 土木課 079-435-2365

- 主催 播磨町都市基盤部土木課
協力 泉佐野ウォーターフロント株式会社
(播磨フィッシャリーナ指定管理者)
海上保安庁加古川海上保安署
公益財団法人ひょうご豊かな海づくり協会
海藻おしば協会
播磨フィッシャリーナ利用契約者
播磨町教育委員会



海の事故は118番へ通報してください



新島の沖からまちを眺めました



海藻で美しい万華鏡をつくりました



着水すると膨らむライフジャケット
ヒラメの稚魚を放流しました



「クルージング、楽しかった～」

このピアノが長く大切に使われ、多くの人に音楽がある空間を楽しんでもらえることを願います



ステージ寄附事業者より
「地域の発展と繁栄に貢献できて嬉しく思います。ピアノの響きを通じて喜びと感動を届けることを願っています」



ピアノ寄附者より
「親子2代で弾いていたピアノが、みんなに大切に使用してもらい、愛されるピアノになってほしいと思います」



ストリートピアノ

☎ 企画課政策調整係
079-435-0356



ストリートピアノのオープニングセレモニーを開催しました

6月3日、BiVi土山の共有スペースにストリートピアノを設置し、オープニングセレモニーを開催しました。
播磨町ふるさとPR大使の岡部祐希さんによる司会と記念演奏のほか、佐伯町長も猛特訓の成果を披露し、会場を盛り上げました。

セレモニー終了後には、順番にピアノを弾く様子が見られました。

災害時、ドローンを活用した支援活動が可能になります



▲左からDPCA代表理事上田雄太さん、佐伯町長、RUSEA代表理事上原陽一さん

「災害時におけるドローンを活用した支援活動に関する協定」を締結しました

5月26日、一般社団法人DPCA、一般社団法人RUSEAと播磨町の三者で「災害時におけるドローンを活用した支援活動に関する協定」を締結しました。

この協定により、ドローンを活用し、情報収集等を行い、災害対応に協力いただくことができます。

☎ 危機管理課
079-435-0991

回を重ねるたびに多くの人でにぎわっています



春の「朝市」開催しました

5月27日、播磨町役場駐車場で、約1年ぶりに「朝市」を開催しました。
会場では、地元農作物や海産物、花苗や雑貨等の販売が行われたほか、町内飲食店がブース出店したところ、多数の来場者が列をつくりました。
新たに設置した飲食スペースでは、家族や友人などで、談話を楽しみながら、場内で購入してきたて料理を堪能しました。
次回の朝市は10月に開催予定です。またのご来場お待ちしております。

☎ 産業環境課産業経済係
079-435-0304

横断歩道に人がいたら、車は必ず止まりましょう

「春の全国交通事故防止運動」街頭啓発を行いました

「春の全国交通事故防止運動」期間中である5月12日と18日、加古川警察署・加古川交通安全協会播磨支部と連携し、街頭啓発を実施しました。



▲土山駅前街頭啓発

5月12日はキッズ交通保安官3名にご協力いただき、JR土山駅前で実施しました。
5月18日は播磨南小学校児童7名にご協力いただき、播磨南中学校前「おもいやり横断歩道」で実施しました。



▲歩行者優先をお願いします

これからも、皆さん一人ひとりが交通ルールを守り、交通安全に努めましょう。

☎ 危機管理課
079-435-0991

「平和の文化」を根付かせるため、たゆまず力を尽くす

日本非核宣言自治体協議会総会・研修会に参加

播磨町は昭和57年に「核兵器廃絶のまち宣言」を行い、日本非核宣言自治体協議会に加盟しています。

5月29日には、長崎市で開催された日本非核宣言自治体協議会第40回総会に当町の議会副議長と住民協働部長が参加しました。協議会では、各自治体で相互に連携し、平和を共に考え行動する「平和の文化」を根付かせるため、たゆまず力を尽くすことの決議を採択しました。また、



平和祈念式典や平和事業活動を取材する親子記者の抽選会が行われ、代表として神吉副議長が抽選を行いました。

研修では、福山市平和資料館の取組事例や被爆者との交流証言者、サークル団体平和出前講座など受講し、改めて平和の尊さ、戦争の悲惨さを学びました。

☎ 協働推進課住民協働係
079-435-2364

交通事故にあわないように、小学生が交通安全を学びました

交通安全のつどいを開催

6月1日に播磨西小学校で交通安全のつどいを開催しました。
兵庫県トラック協会と神姫バス、加古川警察署の協力を得て、内輪差についての実演講習やバスの乗り方講習、警察官の交通安全のお話など、交通事故から身を守るためのルールやマナーを学びました。学習の後には、兵庫県警察音楽隊による演奏を楽しみました。



▲トラックには近づかないこと。わかりましたか？



▲バスの乗り方も教わりました